

堂々たる田舎 Vol.2 馬路村 夫婦にフォーカス!

2019
TAKE FREE

私たち
嫁
に来ました!
馬路村 移住者座談会



pp.9-10

お互いUターン!

魚梁瀬で子育てどうですか?



pp.5-6

ベテラン夫婦に
きいてみよう!
村の結婚 今と昔

pp.7-8

馬路村オリジナル
婚姻届け

pp.11-12

村の子どもたちの1日を
チラッと覗き見!!

馬路村結婚・子育て支援

p.13

1. 結婚祝い金
2. 村内保育所無料
3. 奨学金無利子貸与
4. 満18歳の年度末まで医療費無料

馬路村について



所在地：高知県安芸郡

面積：165.48km²

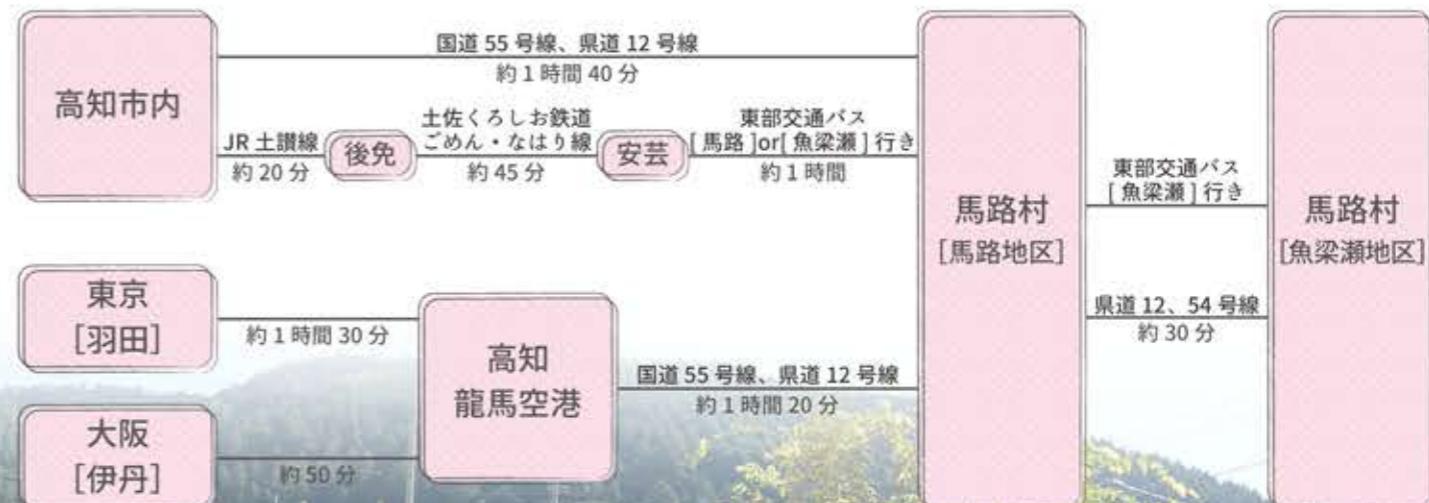
人口：864人

特産品：ゆず加工品、魚梁瀬杉加工品

森林率：96.7% (うち、国有林 75%)

※2019年10月31日現在

アクセス



お問い合わせ

馬路村役場

地方創生課

〒781-6201 高知県安芸郡馬路村大字馬路443番地

TEL: 0887-44-2277 (AM 8:30 ~ PM 5:15 *土・日・祝休)

FAX: 0887-44-2779 E-mail: info@umaji-iju.jp

移住・定住応援サイト | 堂々たる田舎 <https://umaji-iju.jp/>

僕たち・私たち
結婚しました!

馬路村で

pp.3-4

「おんしやあ、どこの嫁ぞー？」



昼休みも終わりになる頃、仕事場へと向かう途中で、村のおんちゃんにいさつをしたら、そんな言葉が返ってきた。

ここは高知県東部の山あいにある、馬路村という人口約900人の小さな村。現在は“ゆずの村”として知られているが、かつては林業で栄え、今でも森林率が96.7%を占めている、自然豊かな村だ。その豊かな自然のおかげなのか、図らずも生活圏がぎゅっとコンパクトにまとまつたこの馬路村では、お昼に各自が家に帰つて『家族』とあたたかいご飯を食べるのがデフォルトらしい。

——残念ながら私の場合は、今のところ『独り』なのだけれど。

移住して1年。移住した年の春はまだ肌寒くて、布団を引っ張り出した覚えがある。朝、昼、夕。村の人会つたら、なんていさつをしたらしいのだろう。戸惑うこと多かった。少しずつ村での暮らしに慣れしていく中で、この村の大人たちのいさつがちょっと不思議なことに気づく。朝は「おはようございます」、昼は「こんにちは」、夕方は「こんばんは」ではなく「おつかれさま」。なんとなく、そんなところから村の人たちどうしの密な関係を感じる。

馬路村といえば、ゆず、魚梁瀬杉。製品のイメージが先行しがちだけれど、もちろんこの村で暮らしを営む人がいる。私と仲良くしてくれる子どもたちも、中学校を卒業すれば、進学のために村から旅立つ。日々、多くのゆず製品や木製品が送り出されている、この村から。

やりたいことを仕事にするために居場所を探して、移住して、定住する。その先には何があるんだろう。この子どもたちは、どんな未来を生きいくんだろう。

今回は、そんな馬路村で“幸せ”な未来を生きている、2組の夫婦にお話を伺いました。新婚さん、子育て世代、そして人生の大先輩。

——これは馬路村で“幸せ”な未来を生きている、約900人×3組の物語。

ちなみに冒頭の言葉には、「おつと嫁さつとも」「嫁さじやないで」と、事実を伝えた。「ほいたら」「嫁さ」「おつ」と、返事をいただいたのだが、アラサーの私も、どうやらこの村ではまだ『嫁』でいいらしい。

堂々たる田舎×夫婦にフォーカス
馬路村地域おこし協力隊 飯田 明里



田舎タラバ 婚さん



毎年11月に行われるゆずはじまる祭り。青年団が杵でお餅をつく。
馬路温泉で行われる湯けむりビンボン。この日は、村出身のおんちゃんも奥さんと一緒に帰ってくる。
前撮りでの1コマ。鉄人さんの祖母、「りっちゃん」は村の名物おばあちゃん。おいしいからドーナツを作ってくれる。保育所に通う、姪っ子の歌乃ちゃんは、お花をプレゼントしてくれた。
12月に行われる馬路熊野神社大祭。
咲季さんは勤める馬路小学校の様子。この日は国際交流員と一緒にコテージバイを作った。

（7）馬路村に住んでみたての「月見団子」を貰う。咲季さんによると、これが以上入らないのに「月見団子」を買いたいに行こ、買いたいに行こって言うんです。どうしてこんなに月見団子を買いたいに行かなきゃいけないのか（笑）——そんなことがあつたんですね。実際に馬路村に住んでみてどうですか。（咲季さん）本格的に村に住み始めたのはこの春。以前は安芸市に住んでたんですが、いざ移住してみたら職場が近く、朝もすごく楽です。帰りもすぐに帰れるので、時間にゆとりがあります。

——最後にこれから結婚を考えてる人にアドバイスをお願いします！
鉄人さん）言わなきや始まらない。

咲季さん）ほんとにね、そうなんですよね。言わなきや始まらない！



馬路村は、活気のある村。
人の温かさ、人と人とのつながり、地域の結束感がとても強い。
交通の面で少し不便ですが、それ以上に生活していくには十分な
村の良さがみえて見ています。

木下 鉄人 木下 咲季

2019年結婚 馬路村馬路地区在住
旦那さんの鉄人さんは馬路村育ち。「てっちゃん」のあだ名で村の子どもたちから大人まで、幅広い世代に愛されている。奥さんの咲季さんは高知市出身。馬路小学校で栄養教諭として仕事をしながら、この春結婚。馬路村に移住。

——馬路村の人たちはフレンドリーな人が多いですね。では、おふたりの出会いについて教えてください。
（鉄人さん）農協の仕事で馬路小学校に行くことがあります。その時は特にどうという感じではなく、青年団の活動でちょこちょこ会っているという感じでした。ある日、学校の用務員をしていた田辺さんに「これ、あんたから電話しなさい。ご飯ばかり1回行つてき。行つたらまあどうにかかるかもしれんき。」って連絡先を渡されて。

（咲季さん）私も田辺さんから「今日電話がかかってくるき。」って聞いて待ってたんですよ。でもなかなかかかるってこない。もう寝ようかなって思つてたところでかかってきた（笑）鉄人さん）電話して、ご飯食べに行つて。毎年湯けむりビンボンと一緒に参

加したり、ご飯食べに行つたりはするけど、そこで何かあるわけでもなく、しばらく間が空きました。
——なるほど、しばらく間が空いたんですね。結婚に至るまでのことを聞いてもいいですか。

咲季さん）ふたりで出かけた後に電話がかかつてきて。直接言つてほしくなって、こちらから聞く形に（笑）くれなくて、こちらから聞く形に（笑）（鉄人さん）そこから付き合うことに（笑）なつて、プロポーズは中秋の名月の日。でも暑つてました。外に行こうとしたけど、肝心の月が見えない。
（咲季さん）ご飯もいっぱい食べて、これ以上入らないのに「月見団子」を買いたいに行こ、買いたいに行こって言うんです。どうしてこんなに月見団子を買いたいに行かなきゃいけないのか（笑）——そんなことがあつたんですね。実はこの春。以前は安芸市に住んでたんですが、いざ移住してみたら職場が近く、朝もすごく楽です。帰りもすぐに帰れるので、時間にゆとりがあります。

——最後にこれから結婚を考えてる人にアドバイスをお願いします！
鉄人さん）言わなきや始まらない。

咲季さん）ほんとにね、そうなんですよね。言わなきや始まらない！

——咲季さん）馬路村に来たのは、5年前。馬路小中学校へ栄養教諭として転勤になりました。1番衝撃を受けたのが、保護者の方と先生たちの歓迎会。歓迎会って言つても、まだ2校目だし、あんまり知らなかつたんですけど、馬路村は保護者の方たちが前で踊る！あれで衝撃を受けて。それに、結構みんなが話しかけてくれる。すごいなあつて感激しました。

田舎 × 子育てさん

コンビニや信号などないものは沢山あるけれど、自然や温かい地域の人達が迎えてくれる所です!!



近藤 稔、近藤さやか

2004年結婚 馬路村魚梁瀬地区在住
旦那さんは魚梁瀬、奥さんのさやかさんは馬路出身。結婚して15年、けんかもしたことがないという穏やかなおふたりは、元気いっぱいの3人のお子さんとともに、魚梁瀬地区で暮らしている。

—馬路　やなせ
やなせ
穏さん)修学旅行や宿泊学習が合同で、から交流があったのでしょうか。

さやかさん)1学年違ったんだけど、友達として顔見知りでした。

高校まではお互い一緒にでました。私は高校卒業後、就職で大阪に出ました。

穏さん)僕は大学を卒業して、Uターンで魚梁瀬の湯浅建設に就職して。

さやかさん)私は社会人になつたけど、都会は人が多くて。「人混みダメだー!」ってなつて一笑私が仕事を辞めて高知に帰つてくるタイミングと、穏君が大学を卒業して就職で魚梁瀬に帰つてくるタイミングがたまたま一緒になつて。

穏さん)夏に参加した馬路の納涼祭で、偶然再会しました。

—馬路の納涼祭で再会したんですね。それから結婚までの経緯をきいてもいいですか。

さやかさん)納涼祭で会つた時に連絡先を交換したのがきっかけで、しばらくは何人かで会つてました。それが、だんだんと仲良くなつて、自然な流れで。

穏さん)もともとお互いの顔も知つてしまし、交際期間も1年未満。

さやかさん)せっかく穏君がスーツを着て私の実家に挨拶に來たのに、うちの親は「はよお、スーツ脱げえ! 分かつとるで、えい!!」みたいな(笑) —なるほど(笑)近藤さんは現在3人のお子さんを育てていますが、子育てについていかがですか。

さやかさん)都會だと誘惑が多いっていうところもあるけど、魚梁瀬では危ないところにもいかないし、あえてダムに覗きに行くとかもしない。それこそ、地域の人目のがある。

穏さん)顔と名前、それから親も分かつて。悪いことすると見つかるき。

さやかさん)自分らが仕事でいないときに、「ああいうことしようた」「こういうことしようた」って教えてもらえるのはありがたいよね。

—小さい集落ならではなところもありますよね。最後に馬路村への移住を考える人にアドバイスをお願いします!

さやかさん)不便なところもあるけど、住めば都。道中長いとか、コンビないとか、言い始めたらたくさんあるけど、自然と地域性というか。

穏さん)「自分の畑のきゅうりじやー」とか「魚じやー」とか、いろいろお分けもくる(笑)

さやかさん)それはそれがありがちで、暮らすよね。最後に馬路村への移住を考える人にアドバイスをお願いします!

さやかさん)それはそれで、いいんじやないか



魚梁瀬の子どもたちが通う魚梁瀬小中学校。校舎には、子どもたちのアイデアをもとに造られたすべり台が。
卓球部で頑張るお兄ちゃんと、家族でバシャリ。
毎年7月に行われるフェスティバル魚梁瀬。移住者も地区の人に教わりながら一緒に踊る。大迫力の花火も。
魚梁瀬森林鉄道。春には桜、秋には紅葉が美しい。乗車体験のはかに、運転体験もできる。
魚梁瀬丸山公園で遊ぶ子どもたち。自然に囲まれ元気いっぱい遊びができる。



田舎×ベテランさん



子ども達の成長を身近に見て樂しみながら育む地域
人にはおじいちゃんおばあちゃんがおり、これが個性は
ありますから、自分のペースを守りければ一人でつながりが
温かく感じられるのです。子育てには自然の美しさもあり
むとて庄へ戻ると心うきき

大野 慎介 大野 美智子

1974年結婚 馬路村馬路地区在住
旦那さんの慎介さんは馬路村、奥さんの美智子
さんは高知市出身。農業に、狩猟もできる“し
んにい”と明るい“みつちやん”。娘さんやお孫
さんと暮らす、村のおしどり夫婦。



—今はネット回線がきている馬路村にも、そんな時代があったんですね。これからおふたりでしたいことはありますか。

美智子さん）今は子どもや孫たちを助けながら生活してるから仕方ない事故とかあるじゃない、ふたりともどっぷり高齢者だから（笑）
慎介さん）新婚になりたかったけど、孫がいるからふたりの時間がなくて旅行に行きたいけど行く時間がない。そのうち免許取り上げられて行けなくなる（笑）

美智子さん）今は子どもや孫たちを受け入れられたら、住みやすいんじゃないかなあと思います！

—最後に馬路村への移住や、結婚を考える人にアドバイスをお願いします！

美智子さん）自分が相手を受け入れる気持ちが大切だと思うんですよ。それで言ってくれているというのを受け入れられたら、住みやすいんじゃないかなあと思います。

慎介さん）結婚指輪を買うなら、良いがを買っちゃう。年を取つたら「売る！」言う。売つたらおいしいものが食べれる（笑）

美智子さん）金、売れる（笑）

慎介さん）売られたあ（笑）

美智子さん）たまたまお町（高知市）で出会ったのね。それこそ帶屋町。

慎介さん）もともと共通の知り合いがおつき、見かけて声かけた（笑）

美智子さん）私が看護師だったから、「この人が入院して、そこで私が働いてて知り合った」ってみんないうけど、実際は高知市で遊んでいたら、「今度デートしよ」とて（笑）

—つまりはナンパだったわけですね！お付き合いしていた当時の馬路村はどんな感じでしたか。

美智子さん）その時はまだ馬路村の電話が有線で。かけると交換手が出て何番何番って言つたら電話を繋いでくれるのね。ケータイなんてないし、お義父さんがでて、声が似てるから私が間違えたこともあつたりね（笑）

慎介さん）手紙のやり取りはせんかつたけど、交換日記に書いて渡してた。

—大野夫妻は結婚して44年のベテラン夫婦。結婚した当時の馬路村の様子を教えて下さい。

美智子さん）村の中央を流れる安田川がすごくきれいだといました。でも、当時は村外から来たお嫁さんが少なくて、私が話し合える人がいなかつた。今は若いお母さんたちが集まるひよこらぶもあるけれど、当時はなかつた。

—昔に比べて若いお母さんたちが集まる場所ができたということですね。ところで、おふたりはどこで知り合つたんですか。

田舎でたる×座談会



馬路村×嫁

こんにちは!
私たち嫁いできました!

どうやって出会ったの??

山崎 今回は「夫婦にフォーカス」ということで、この座談会では、村に嫁いできた人たちに実際の村の暮らしを聞いてみたいと思います。みんなどうですか、村の暮らしは!!

牛窓 自分は馬路村と同じような環境で育ったので、これが普通だと思ってたんですけど、遠くからきた人は子どもの運動会に参加するとか初めてなんじゃないかなと思うんですよ。保護者が一緒に参加できるのは馬路村ならではなんじゃないかなと。

皆津 魚梁瀬でも、移住してきた親御さんが「そんなことも一緒にできるの!?」という感じで。でも、そのおかげで改めて子どもと関われるつて喜んでる人もいます。

山崎 学校の参観日は母親か父親、どっちかが必ず出席するよね。

皆津 職場にも、学校行事などで、という理由で仕事の休みが取れる。わりと融通をきかせてもらえる。

牛窓 お父さん、最近はすごいですね。結構いますよね。

山崎 最近は、全体のうちの3、4割はお父さんだよね!

山崎 みんなの旦那さんとの出会いを聞いてもいいですか?

北岡 親戚の集まりで。「今度高知に飲みに行こう、一緒に飲もうよー」って誘われて。

皆津 私たちはメールアドレスじやなくて固定電話の番号。携帯電話がない時代。お父さんお母さんを介して繋いでもらう世代だった。

北岡 あはは、そうそう(笑)



馬路村×パートナー

どうやって出会ったの??

山崎 みんなの旦那さんとの出会いを聞いてもいいですか?

北岡 当時、高知市で働いてたから、仕事を辞めるのが嫌だったんですよ。

皆津 「今日ダメやつたら諦めよう」つてい

山崎 そもそも結婚するまで馬路村へ行ったことがなかったんですよ。もちろん住んだこともないし。とりあえず行ってみるね、あかなんだら帰ってくるわーっていうスタンスで来た。で、今に至る。山村留学で来た人を見ても、合う、合わないがあつて。

皆津 前情報がなかつたのが、逆に良かった?

山崎 前情報がなかつたのもあるけど、私は陽気な引きこもり(笑)なので、自分の時間が持てて、地域の活動で集まる時は集まるっていうのができるのが良かつた。

牛窓 密になりすぎると、昨日車なかつたねーとか。

皆津 電気つけっぱなしやつたねーとか。

山崎 前情報がなかつたのが、逆に良かった?

皆津 いつも結婚するまで馬路村へ行ったことがなかつたんですよ。もちろん住んだこともないし。とりあえず行ってみるね、あかなんだら帰ってきてもらえたうれしいよね。

山崎 では最後に、結婚とは?!

北岡 ご縁やね。ご縁とタイミング!!

皆津 まずはしてみたら、と。案外長持ちするかもよ、と(笑)

牛窓 自分の時間をそれぞれが自由に過ごせるので、続いているのかな、ビソードありがとうございました!

皆津 私の出会いは馬路村のお見合いツアーワーク。

山崎 そこでどうしてこう。

皆津 そこに旦那さんが同じ職場の人と参加していく、その人がすごく気に入った女性がいて。その女性はおとなしめな感じの子だったので、女性側は私が間に入つて、男性側は旦那さんが間に入つて連絡を取つてゐうちに。

山崎 ジやあ結婚を決めたのは?

皆津 私の場合は決めたというか。お試しのお付き合いが年末くらいからはじまつて。春になつたらご懐妊しこれで、しやーないな、と。

山崎 けどまあ、しつこかつたからというか、熱烈だったから、と。

北岡 ご縁があつたから、ということでしょうね!

馬路村×よその人



※ぱっくり
魚梁瀬ふるさと劇団杉ばっくりのこと。
皆津さんも所属している、魚梁瀬地区を拠点としたサークル。村の行事にも積極的に出演している。

皆津 やっぱり「ひそひそ」されるの!?

山崎 みなさんどうですか、馬路村になじんだなつて感じたエピソードつてありますか?

皆津 魚梁瀬つて小さいでしょ。だから、まずは私が知らないでも相手が覚えてくれる。次に子どもが大きくなつてきたり、私もぼつくり(※)で馬路魚梁瀬間を行き来して覚えてくれる人が増える。そして、デイサービスのお手伝いを始めたことで、年配

皆津 馬路村の明日はどうだった!?

山崎 そもそも結婚するまで馬路村へ行ったことがなかつたんですよ。もちろん住んだこともないし。とりあえず行ってみるね、あかなんだら帰つてくるわーっていうスタンスで来た。で、今に至る。山村留学で来た人を見ても、合う、合わないがあつて。

皆津 そもそも結婚するまで馬路村へ行ったことがなかつたんですよ。もちろん住んだこともないし。とりあえず行ってみるね、あかなんだら帰つてくるわーっていうスタンスで来た。で、今に至る。山村留学で来た人を見ても、合う、合わないがあつて。

皆津 そのまま結婚するまで馬路村へ行ったことがなかつたんですよ。もちろん住んだこともないし。とりあえず行ってみるね、あかなんだら帰つてくるわーっていうスタンスで来た。で、今に至る。山村留学で来た人を見ても、合う、合わないがあつて。

皆津 そのまま結婚するまで馬路村へ

皆津 そもそも結婚するまで馬路村へ行ったことがなかつたんですよ。もちろん住んだこともないし。とりあえず行ってみるね、あかなんだら帰つてくるわーっていうスタンスで来た。で、今に至る。山村留学で来た人を見ても、合う、合わないがあつて。

皆津 そのまま結婚するまで馬路村へ

馬路村の田舎 子どもたち



■ 馬路小学校。朝の登校の様子。高学年や中学生は自転車で通学する子も。小学生は登校後、図書の借り換えを行う。
■ 魚梁瀬小中学校の玄関。コンパクトな地区なので、みんな歩いて登校。登校後、ランニングから 1 日が始まる。
■ 魚梁瀬小学校の授業。少人数教育のため、先生の目が行き届く。
■ 飲食の様子。この日は食育の日だったので、咲季さんの姿も。
■ 中学校の授業。この日は年に 1 回の合同学習会。馬路、魚梁瀬の中学生全学年が一緒に授業を受ける。馬路でこれだけの人数が同じ行室で授業をしているのは珍しい。
■ 授業後は放課後子ども教室へ。この日はクリスマスが近かったので、ツリーの飾りつけのために子どもたちが集まってきた。
■ 馬路温泉で温泉体験。地域の事業所が受け入れを行っている。
■ 中学校の部活動。馬路には野球部、卓球部。魚梁瀬には卓球部がある。

田舎々たる堂

馬路村では活力に満ちた地域づくり、ゆとりある村づくりの施策として、次の通り補助制度を設けています。

結婚・子育て 支援

馬路・魚梁瀬保育所は少人数でアットホームな保育をしています。夕涼み会・芋ほり・餅つき・節分など、季節の行事を行っています。親子バス遠足ではイチゴ狩りや動物園へ。クッキングではうどん作りやクッキー作りなど、子どもたちに食の大切さを共に伝えています。子どもたちの元気な声が響き渡る村で楽しく子育てしませんか。



起業支援

村にない商売を始めると、起業奨励金の対象になります。

2016年春にはうまいじのパン屋さんが出店。

馬路村で新しいことにチャレンジしてみませんか。

起業奨励金 村内で起業した方に、月額3万円（最長5年間）を交付



住宅支援

空き家を改修して、移住者支援住宅として貸し出しています。2017年にはお試し住宅も完成しました。キッチン・バス・トイレをすべて改装し気持ちの良い空間で生活できます。



お試し住宅	家電・生活用品完備 気軽に入居可
若者定住促進住宅	入居から 10 年間の家賃が月額 1 万円（40 歳未満に限る）
移住者支援住宅	空き家を村がリフォームし、移住者に貸し出し
村営住宅	世帯数、所得に応じて、各種村営住宅あり
家の新築	最大 250 万円程度を補助（条件あり）

最新の情報は、馬路村移住・定住応援サイト「堂々たる田舎」(<https://umaji-iiju.jp/>)をご覧ください。